

## 第96回宇宙政策委員会(2月15日)における委員からの意見

## (宇宙関係予算)

- 宇宙関係予算が5,000億円となったことは評価する。宇宙政策を確実に進めていくためには、5,000億円は最低限必要な予算額だと認識している。省庁が着実に執行を行い、工程表に記載されている具体的年限で施策を実現できるように取り組むことが重要。
- 宇宙関係予算が5,000億円を超えたが、予算の内訳が重要。ニーズに合っているかなどを分析し、今後に向けて検討をしていくべき。

## (安全保障)

- 防衛省における宇宙利用が着実に拡大しているが、最新技術の導入など、その他の省庁と技術面での横通しを図りつつ進めることが大切と思う。今後議論を行いたい。
- 国家安全保障戦略・防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画の、いわゆる防衛三文書の改訂が予定されているところ、宇宙の位置づけは大きくなると考えられ、当委員会でも議論していくべき。安全保障の観点で必要な整備は引き続き進めていくべき。

## (災害対策や地球規模課題の解決への貢献)

- ひまわりは気象観測だけではなく、災害監視においても世界的に貢献している。次世代衛星の開発に、着実に予算措置を行うことが重要。
- ヨーロッパではコペルニクスマスターズという、衛星データの利用コンテストがあり、グリーンやSDGへの活用などを促進している。我が国でも同様の取り組みを行うといいのではないか。

## (宇宙科学・探査)

- 宇宙科学・探査は重要。着実に進めていくべき。国際協力を行う上でも、自前で行えるよう技術開発を進めていくべき。フロントローディングの活用を行うべき。

(小型 SAR 衛星/小型衛星コンステレーション)

- 小型 SAR 衛星データの利用実証について、2025 年までに小型衛星コンステレーションの構築を目指す工程表に明記したことは重要なこと。利用実証においては、各省で衛星を使い倒し、改善すべき点などをフィードバックし、更なる衛星開発とデータ利用促進の好循環となるよう取組んで欲しい。
- 小型 SAR 衛星コンステレーションは、安全保障などさまざまな観点から重要。重点的に投資していくべき。

(産業・科学技術基盤の強化)

- 量子暗号技術は安全保障や社会活動において重要であり、研究開発をスピードアップするべき。諸外国に負けると大きなダメージになる。
- 経済安全保障の観点からも、宇宙関係の技術には重要なものが多い。政府の新たなスキームも利用して、これらの技術の研究開発を加速していくべき。それによって、国内の宇宙産業を育成していくことが重要。
- 内閣府のスターダストプログラムは有意義な取組であるが、ある程度フェーズが進んだら、各省における本格的な取組みに進むようになることが理想。

(輸送)

- 自立的な宇宙活動という理念の実現には、衛星開発に加えて輸送も重要。例えば、小型衛星コンステレーションの計画は多いが、国内の輸送手段は不十分。これらが海外で打ち上げることになると、我が国の民間ロケット市場の拡大につながらない。小型のロケットを含めて戦略を検討することが重要。
- H3ロケットは極めて重要。開発状況をこまめに報告していただき、本委員会でも議論していくべき。宇宙政策委員会でもしっかりとフォローしていく。
- 海外からH3の評判は良いが、顧客が逃げないように、技術的課題への対応については、当初の方針に加え、並行してバックアップ策も含めて対応を検討するべき。